

平成29年度 学者村景観を考える会 第3回例会 議事要旨

日時 平成29年11月9日 9時30分～11時40分 場所 1期山の家

参加者 事務局4名 役場2名 管理センター1名 財産区1名 オーナー3名

議事概要

◎自己紹介

◎事務局から

・秋のイベント 10月8日(日) 計画通り実施 一斉清掃 25名 特殊伐採実演見学 36名
親睦BBQ 34名(特伐チーム6名・財産区4名・管理センター3名)

伐採は危険な作業であり、実演見学をとおして大変な作業と感じられた方も多くおられた。

BBQは財産区や特殊伐採チームも参加され、秋空の下、親睦を図っていた。

・会計報告(松田さんから) 承認された。年度初めの繰越金 202095円

平成29年度の収支状況

収入

4～8月募金 17480円
財産区寄付 10000円
BBQ参加費 34×300円 10200円
9～11月募金 20000円
計 39660円

支出

春のクリーンウオーク費用 4864円
BBQ買出し交通費 1000円
29年度活動費(4名) 10000円
計48884円
29年11月9日時点の収支 192871円

◎管理センターより

○台風21号被害と復旧状況について

台風の後、早朝、風が強かったことによる被害(3期が被害大)

倒木が屋根にかかった家屋 21軒 人的被害無し 倒木 600本

停電 3期(1日半以上)・1期も全体が24日停電(B地区は2日観停電) 電柱倒れる 3期1名避難

通行止め 4か所(3期3・1期1) 水道 断水(1期A 4軒) 水道管破損3ヶ所(3期1・1期2)

道路被害4ヶ所 法面崩れ4ヶ所

現在、復旧中 今後倒れそうな木は優先的伐採 断水対策としてタンク200用意した。

財産区の議員さんも被害状況を見に来ていただいた、今後どのようにしていくか検討することに。

被害の状況は「長和の風」に掲載

○台風21号被害について、3期オーナー報告

☆台風後の危険な中、早朝から管理センターの方に対応していただき、ありがとうございました。

・高齢で一人で住まいの方、停電で心細かったと思います。

3期の山の家で炊き出しを行いました。

・今後の要望として、町で冬場の災害の対応方法をまとめていただきたい

・停電時の暖房は反射式の灯油ストーブが良いと感じた(灯油も1缶用意するなど)。

・舗装のされていない道路のタイヤのわだちは水がはけず、飽和状態になっている、その対策を考えてほしい。

○管理センターから

・3期の方に炊き出しを行っていただいた。・町の方から懐中電灯・毛布の貸し出しをしました。

・3期山の家での対応は30日まで行った。・情報が無いと不安なので書き出し掲示を行った。

(今後を生かしていく)

○オーナーから

・一時避難場所の問題は、この会で以前よりお話しております、道路の水はけの件も同様です。良い提案があれば出してほしい。

☆以前の大雪の時の対応に比べ、今回の対応は非常によくやっていただいた。

・除雪の体制はどうか

管理センター回答 大雪の日は5時頃から出ています。3期に除雪機を置く予定です。

・普通乗用車が通行可能な時は除雪しない(道路傷むので)。

○オーナーから

車のわだちは補修をせず放置されているから起きているのでは、路面を平らにすることが重要ではないか。

管理センターから回答 2期・1期・3期を含めて水切りを行っているが、元々あるU字溝が枝道については活かされていないのが現状、今回の大雨で、うまくいったところもあるし、水の流れがわかったところもあり、対応しやすくなった。また、わだちの深い所は碎石を入れているが、ひどい所があれば連絡してほしい。

◎長和町、別荘係から

・緊急時の連絡体制

「長和の風」で緊急連絡先メールアドレスを掲載したが、連絡をいただいたのが17~20数名、管理センターでメールのやり取りをしている方が約30名で計50名程度把握している。今回の災害で活用させていただいた方もいる。今後はメールソフト等を利用した災害情報などの把握方法を考えてまいりたい。

・今回の停電により固定電話は使えなくなり、町の在宅支援係は固定電話を把握し、携帯電話を把握していない中、マンパワーで安否確認をした。その中で中部電力の高圧線が切れているなかで人が入ってはいけないという制約があり、ジレンマを持ちながら、3期の皆さんに協力してもらって対応した。今後町として再確認していきたい。

・一時避難については、3期山の家をすぐ開けた中で、活用していただいたが、そこに情報を提供しなければならなかったと思う。情報の共有を痛感しました。

・1期が停電の時は、管理センターで職員が2名待機した、町の災害対策本部で管理センターを開けることとしたが、センターへの問い合わせはなかった。災害時管理センターへ電話をいれると役場へ転送されます。

○オーナーから

管理センターの鍵の件は以前も話をしているが、担当が変わっても引き継ぎがされていない。住人からは鍵を預かってほしいと提案があった。ダイヤル錠の話もあったが伝わっていない。今までどんなことが課題として出ているのか洗い出してほしい。

○別荘係から 断水の中で、今後、水源池・配水池にも発電機を設置しようという反省も出ている(予算措置によるが)。これができれば、長期停電でも断水しない対策となる。

○オーナーから

メーリングリストで一斉配信してほしい。責任ある管理者があれば安心してメールを登録するのではないか、早急にお願いしたい。

○別荘係から 管理センターの鍵は難しいが、山の家は決められたオーナーに預けることは可能です、今後相談していきます。

◎別荘管理について

・区画所有者の増減・永住者の変動 解約者増えている 永住者は微増

◎管理業務上の課題

・1期入口の車放置の件 光明見えているので時間ほしい

・オーナーのなくなった区画の整理 財産区との勉強会を通じ、財産区と連携して対応していきたい。今回の倒木の費用も財産区にお願いすることとなり、進めているところです。

○オーナーから

永住のオーナーとビジターオーナーの町に対するサービスの要求は違うと思う。それがゴツチャになっていて話が進まない、高齢者や独居の方の話もあり、町民であったら、管理センターの話ではなくて、町民福祉のはなしですよ、それをどこまで管理センターで請け負うのか。例えば、買い物やゴミ出しなど微妙なものが含まれている。永住者にしてみれば、いままで管理センターが何でもやってくれた、それを続けてほしいという意識が強い。永住者には町がサービスに来てくれるので、それは管理センターのサービスと切り分けた方がよいのではないかな。

○別荘系から 今回の災害でも、町営別荘地なので、ビジターのオーナーも避難されてくる。町より圧倒的に管理センターの方がオーナーの情報や別荘地のインフラの知識を持っており、町とタッグを組んでいるつもりである。これは町、これは管理センターと切り分けるのがいいのかな。

特に災害の時は、タッグを組んで回すのがいい。平時は切り分けるのが合理的かもしれないが、町の別荘地なので組織の横並びを見ながら、いろいろオーナーさんにやれることは対応していくことが良いと考える。

町としても町営別荘地の強みを出して、新しいオーナーさんを迎えて、そういう部分を宣伝しながら進みたい。

○オーナーから

☆今までと違い、管理センターに町職員を配置していただき、本当に良くなったと思うし、安心している。期待も大きいです。

○オーナーから

最近、一時より、訪れる人が、特に若い人が増えているのでは。世代交代か明るい話題、お孫さんが来ている。もっと宣伝して増やして欲しい。長期プランで福祉も充実していけば、良い別荘地としてやっていけると思う。この町には依田窪病院あり安心だし、買い物も便利、もっと宣伝してください。

○オーナーから

ビジターの来村者数を把握してみれば状況がわかるのではないかな。いろいろ分析でき見えてくることがあります。把握することで、この別荘地が気を配っているという宣伝にもなります。

◎30年度活動について

- ・景観を考える会のあり方、存続も含めてについての意見がオーナーからありました。
- いくつかの意見がありましたが、現在の形で今の活動でも充分オーナー同士の交流も深まる場所があれば、会の目的は達成されることから続けていくこととなった。
- ・過去は自治会の議論もあったが、難しい、馴染まないことから深まっていない。現在のようなフワッとした会の形で良いのではという意見も多くあった。
- 会の運営も大変であると思うが、こういう会があるとビジターも安心です。情報も発信してくれるし。

○平成30年度の予定(30年4月の第1回例会での検討事項)

- ・例会 4月10日(火) 8月21日(火) 11月8日(木)
- ・春のクリーンウォーク 5月4日(金) ・秋のクリーンウォーク 10月7日(日)
- ・今後の親睦的イベントの時期と内容は GW中、夏休み期間、10月の連休中、学者村祭を2部構成?
- ・本年の特殊伐採実演等のような自然環境、生活環境の改善に関する活動
- ・景観整備に関わる活動
- ・管理センターの作業に協力等

以上